

1 第1回大河原地域における高校のあり方検討会議における主な意見について

項目	意見内容
新しい学校に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの時代のリーダーシップをとっていけるような学校にしてほしい。 ・全国に先駆けるような学科や指導内容を期待したい。 ・ITを活用した教育活動や6次産業化に向けた取組を期待したい。
農業・商業教育について	<ul style="list-style-type: none"> ・農業教育と商業教育のノウハウとのコラボレーション及び新しい産業(新しい学科)を設置することは、時代としてはマッチングする。 ・アグリテクノやバイオなど、大学や地域のJAと連携し、農業の新しいスキルを学べる学科があるといい。 ・今後の農業のあり方は、コンピューターと連携しながら農作物を作っていくことだと考える。 ・商業に関しては、統合後も引き続き高度な職業資格を目指していきたい。 ・ITに関する勉強をし、ネットビジネスの専門家を育成し、販売力を身に付けてほしい。 ・就職において、中小企業による近隣諸外国への進出に伴い、語学力が必要である。 ・ITや語学に関する力は、進学にも有利。 ・生産、加工、販売を生徒自らが考え、手がけることにより、地域の方も関心をもち、地域の学校ができるのだと思う。
新しい学科について	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業と連携した幅広い学びのできる「ブランド学科」を設置し、6次産業化やブランド化などの知識を持つ人材がほしい。 ・観光にも関連する「ブランド学科」で仙南地域のブランド力を上げるような様々な勉強をしてほしい。 ・資格取得や進学、就職ができるような、総合的な学びができる学科を設置してほしい。 ・少子高齢化の時代において福祉の学科は必要。 介護福祉士の資格取得など、高齢化社会に対応できる人材の育成を考えている。 ・商業と農業に共通する部分である“販売力”を上げるためには、「デザイン」が必要。 6次産業化に向けて必要なマーケティング力とデザイン力を身に付けるため、新しい学校では、デザインを勉強する学科が必要。ホームページを作れるWebデザイナーの育成も必要。

項目	意見内容
要望	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学への道を切り開けるよう、幅広いコース設定をお願いしたい。 ・大学進学も目指せるような学校をつくってほしい。 ・地元中学校と高等学校との連携や情報交換，交流を今後ますます深めてほしい。 ・学校間交流や住民との交流，防災交流など，地域との交流を活発にしてほしい。 ・全国でも有名な部活動などは残してほしい。 ・地域の企業との連携を深め，デュアルシステム(※)を中心とした教育をしてほしい。 企業での長期実地訓練を通して，技術開発や商品企画，マーケティングなど様々な知識を身に付ける必要がある。 ・高度な知識を身に付けながら地域のニーズに合った学びをするためには，総合学制的な形にし，幅広く勉強できるような学校をつくってほしい。 ・高校時代に幅広い関心を持ち，幅広く勉強できる学校があるといい。 ・高校生が主体となって，活気のある高校にしてほしい。 ・進学や就職の幅が広げられるような高校にしてほしい。 ・安全な通学路を検討してほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップやデュアルシステム(※)，実験実習などを通して，自分の中に出てきた知識欲を，様々な方面に発展させ，地域と連携することが，この地域にとっての人材育成だと考える。 ・再編統合に伴う学級減により，地域の子どもたちが交通網の不便な学校に行く場合の援助等が必要。 ・学級減により，行き場のない子どもたちの対策について考えていく必要がある。 ・単位取得制で社会人の学び直しができる高校ができれば，世代を超えた生徒が共に学び，全国に発信できる高校になると思う。

※デュアルシステムとは・・・

若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして，企業での実習と学校での講義等の教育を組合せて実施することにより若者を一人前の職業人に育てる仕組みのことを言う。

県内では，一迫商業高校が導入し，「企業実習」「販売実習」「起業家研究」の3つの長期企業実習を行っている。